

「杜の都」仙台市へ街路樹を学びにいらっしゃいました

街路樹を大きく育て、木陰がいっぱいのまち

伊達政宗の時代から、飢饉に備えて城下町の屋敷林（果樹など）が奨励されたことで、杜の都としての取り組みがスタート。高度経済成長による市街地の拡大で減少するみどりを守るため、1973年には「杜の都の環境をつくる条例」を制定しました。

現在は、物質的な豊かさから、持続可能な社会への転換、地球環境の保全という新たな視点も加わり、みどりの普及が強化されています。



駅前の青葉通は真夏でも涼しく圧巻



さまざまなイベントが開催される定禅寺通（写真は仙台市ホームページより引用）

車社会から歩行者・自転車優先のまちへ

仙台市オリジナルの街路樹マニュアルに沿って、樹木の種類によって剪定方法を定め、剪定技術の継承をしています。

名物の定禅寺通では、市民参加で未来の定禅寺通のあり方を検討してきており、今後は、車線を削減し、歩道と自転車道を拡充する計画が決まっています。

猛暑の夏でもまちなかを涼しく歩くことができ、交流の場であり続けられるような将来ビジョンを持っていることがわかりました。

知っておきたい！ こくぶんじトピックス

問い合わせは市役所へ
042-325-0111

1 光町もみじ公園の桜は伐採なしでトイレの洋式化へ

桜を切らずにトイレ改修するよう要望していました。その後、トイレの建物は壊さずに、和式から洋式便器へ取り替える工事に変更。声をあげて本当によかったです。



2 来年度から待機児童解消の取り組みスタート

待機児童問題がまだまだ深刻な国分寺。1年の育休を終えて職場復帰する人が多いため、特に1歳児が保育園に入りにくいのです。来年度からベビーシッター利用支援事業と定期利用保育がスタート。今後も待機児童の解消を求めます。

3 12月2日以降も紙の保険証使えます

マイナンバーカードの申請は任意であり、紙の保険証は期限まで継続して使用できます。また、期限が切れたあとも「資格確認書」で引き続き医療機関を受診できます。保険証を強制的に廃止するマイナンバー制度は課題が山積です。

■鈴木ちひろ プロフィール

1996年神奈川県藤沢市生まれ。日本語教師として赴任した奄美大島で環境問題に関心を持つ。有機農業の仲間から国分寺のオーガニックカフェ「カフェスロー」を紹介され、働くことに。都市農業や湧水、地域通貨がある国分寺に惹かれて移住。同カフェスタッフ、重度障がい介護ヘルパーを細々と続けながら、新人議員として奮闘中。関心テーマは気候危機とジェンダー。コーヒーとお祭りが好き。手話を勉強中。

■市議会：無会派（グリーンな国分寺）

会派に属さず、市民目線で声を届けます。建設環境委員会、公共施設等総合管理特別委員会、国分寺市都市計画審議会、三多摩上下水及び道路建設推進協議会

■連絡先：

chihirosuzuki311@gmail.com

国分寺市議会議員 ~もっと!人に寄りとう グリーンな国分寺~

鈴木ちひろの

グリーンな国分寺News

2024年10月号 グリーンな国分寺ニュース vol.9
このニュースはグリーンな国分寺リポーターの手作りです。

HPはこちら



気候危機はいのちの問題

今年の夏は観測史上最も暑く、府中観測所では今年7月8日は39.2℃（1976年から観測スタート）で過去最高記録でした。市内の学校ではあまりの暑さで学校のプールの授業が中止になったり、休み時間や学童でも外で遊ばなかつたり、親子ひろばでの水遊びもできなくなったりしたそうです。

熱中症の搬送者数も多く、4月から9月までに57人緊急搬送され、その半数以上にあたる32人が65歳以上の高齢者でした。

今後も気候変動によって、どんどん暑くなり、ゲリラ豪雨などの異常気象が増え、いくことが予想されます。気候危機の影響を強く受けるのは、高齢者や低所得者子どもなど、弱い立場の人です。いのちと健康を守るため、気候危機対策を急がなければなりません。

まずは、家の電気の契約を見直してみませんか。みんなで、国分寺市をゼロカーボンシティへ!

9月議会 もっと!いのちと健康を守る対策を

反対 決算審査 2023年度の税金の使われ方をチェック

- ▼ 気候危機対策が後回し
公共施設の再生可能エネルギー導入など、抜本的な温室効果ガス削減の取組を。
- ▼ PFAS地下水汚染対策は不十分
汚染の原因調査や、緊急対策としての浄水器設置などが必要。
- ▼ 中学校給食の改善を
こくベジ使用率は年々減少。冷たいお弁当からの見直しも必要。
- ▼ 子どもたちの健康的な学習環境を
学校教室の温度測定では、学校によっては適温が維持できておらず、測定方法にもバラつきあり。
- ▼ パートナーシップ制度の拡充が急務
事実婚の適用や、同性カップルが賃貸住宅に入居できるような支援が足りない。



反対 2023年度 国民健康保険料の値上げ「はて？」

国民健康保険は、ほかの医療保険に入れないすべての人を受け入れるセーフティネットで、無職、高齢者、非正規など低所得の人が多く加入しています。収入に占める保険料の負担率が高いため、値上げではなくもっと公的に支えるべきではないでしょうか。

コロナ禍の影響で収入が減ったままなので貯金を切り崩しています。インボイスの導入もあり、保険料の値上がりは辛かったです。（フリー編集者）

たくさん働いても、税金にごっそり持っていかれてガツカリです。食べ物の値段も上がっているなか、生活がとて大変です。（大学非常勤講師）

